

# 最近の雇用情勢について

(平成30年3月)

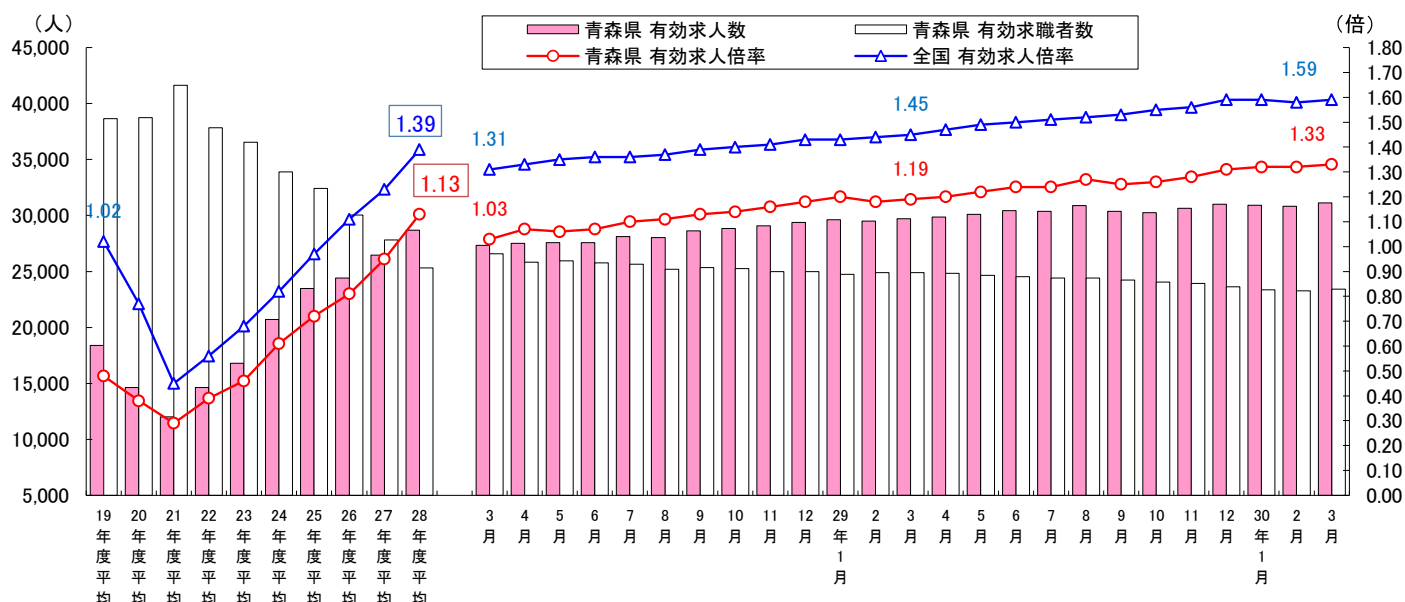
青森労働局

## I 求人・求職・受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

3月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ1.0%増加し31,115人、有効求職者数(同)は0.5%増加の23,407人で、有効求人倍率(同)は1.33倍となり、前月より0.01ポイント上昇した。

就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は1.43倍となり、前月を0.01ポイント下回り、受理地別の倍率を0.1ポイント上回った。

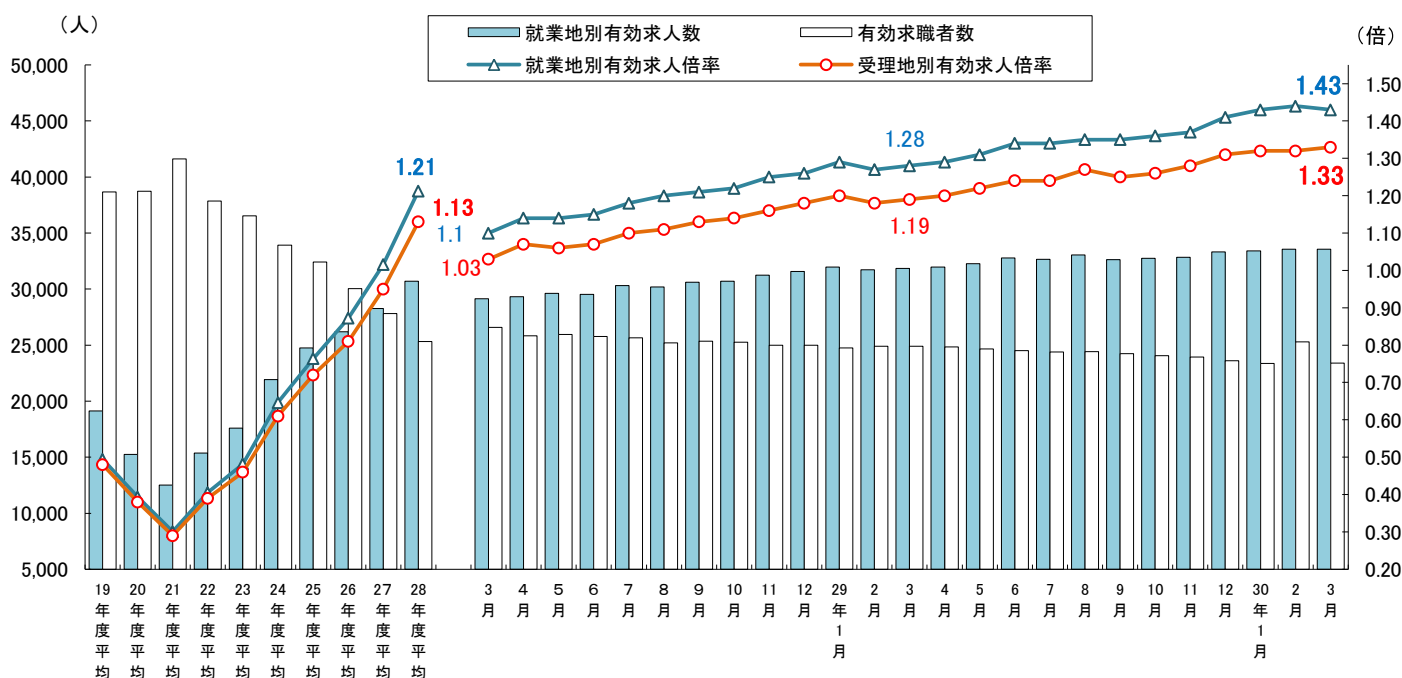
受理地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

### 【参考指標】

就業地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



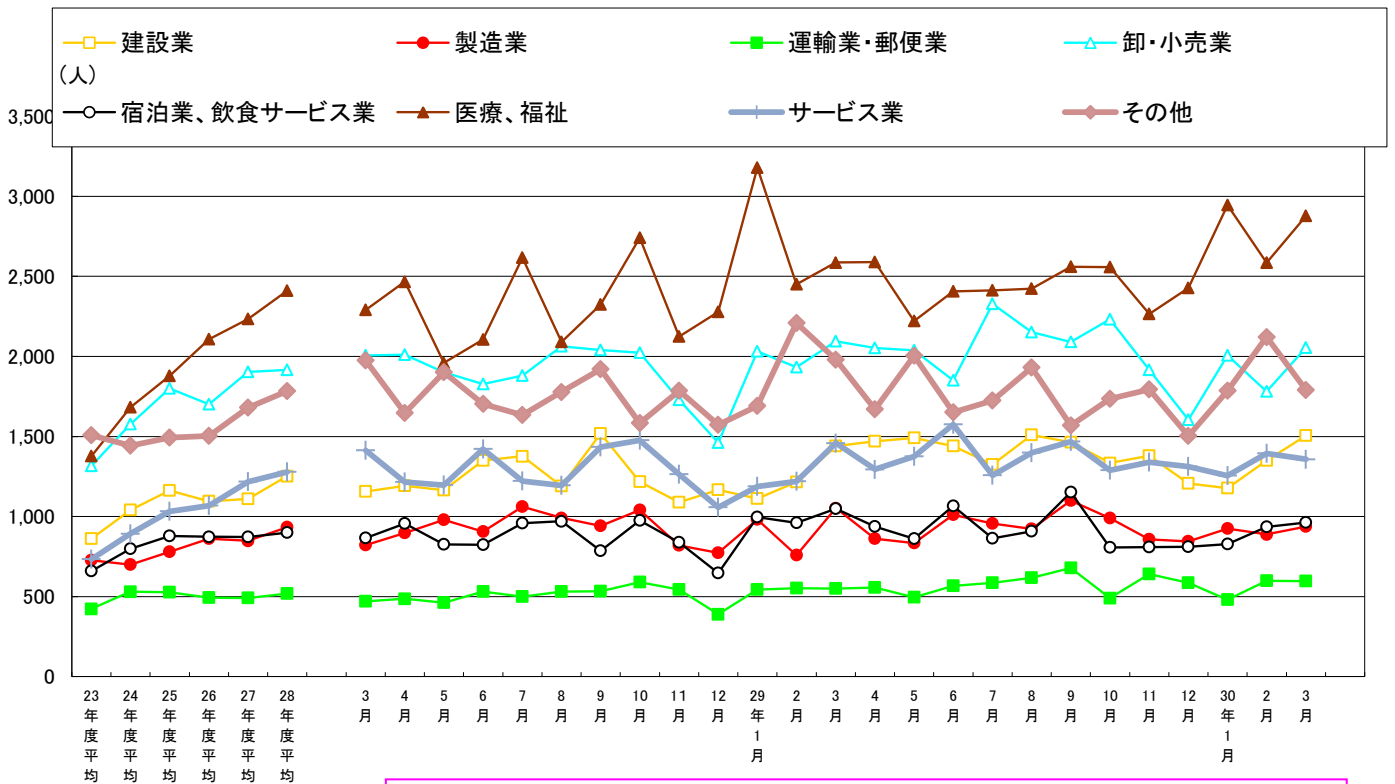
全国のハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。  
季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地とみなしている。  
就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成29年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

## II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

3月の新規求人数(原数値)は前年同月比1.0%(128人)減少、前月比3.7%(427人)増加の12,080人。

産業別で前年同月と比較すると、建設業、運輸、郵便業、医療・福祉等で増加し、製造業、卸売・小売業、不動産、物品賃貸業、宿泊、飲食サービス業、生活関連サービス、娯楽業等で減少した。製造業では、木材・木製品製造業、パルプ・紙・プラスチック、ゴム製品関係、金属製品製造業、輸送用機械器具製造業で増加し、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、電子部品・デバイス・電子回路製造業等等で減少した。



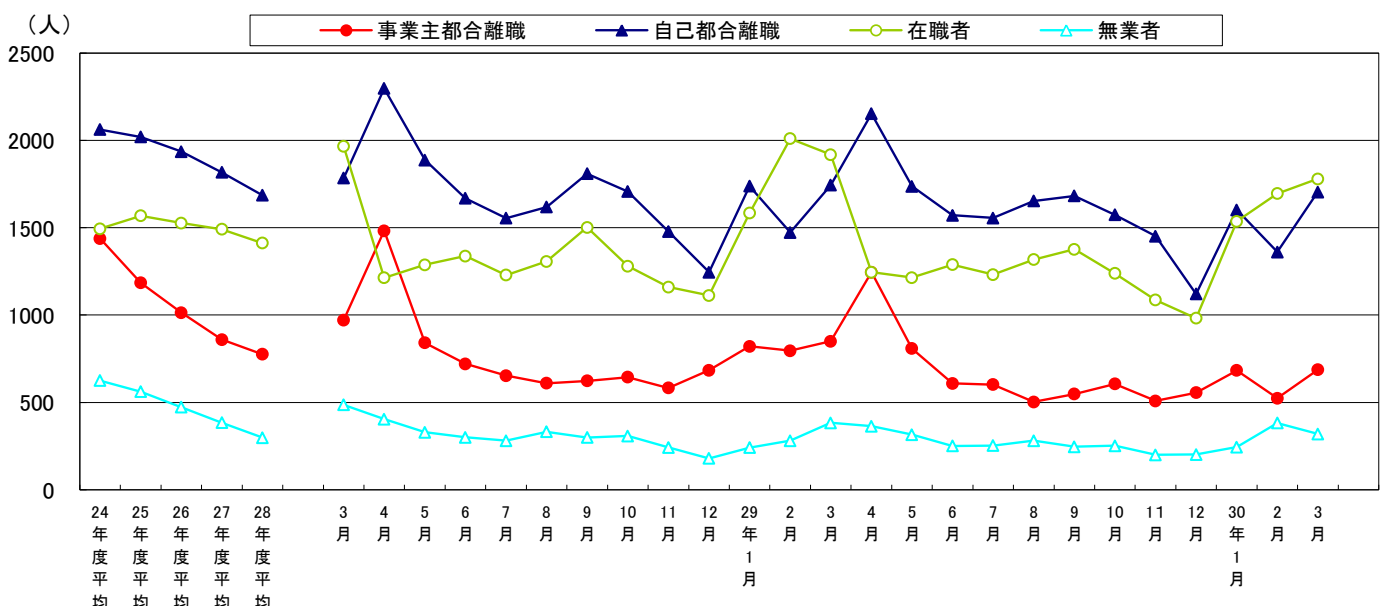
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

## III 新規求職の状況(パートを除く常用)

3月の新規求職者数は、前年同月比8.4%(417人)減少、前月比13.4%(540人)減少の4,574人。

求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は7.2%(139人)減少し、離職者は8.0%(214人)減少、無業者は16.7%(64人)の減少となった。

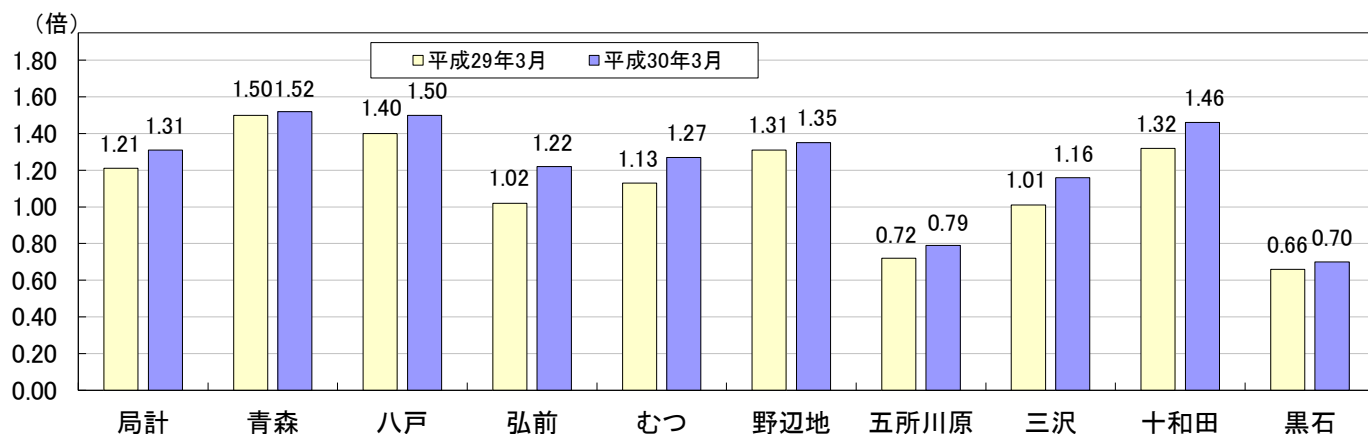
離職理由でみると、事業主都合は19.2%(163人)の減少、自己都合は2.2%(39人)の減少となった。



#### IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

3月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.31倍となり、前年同月を0.1ポイント上回った。

各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



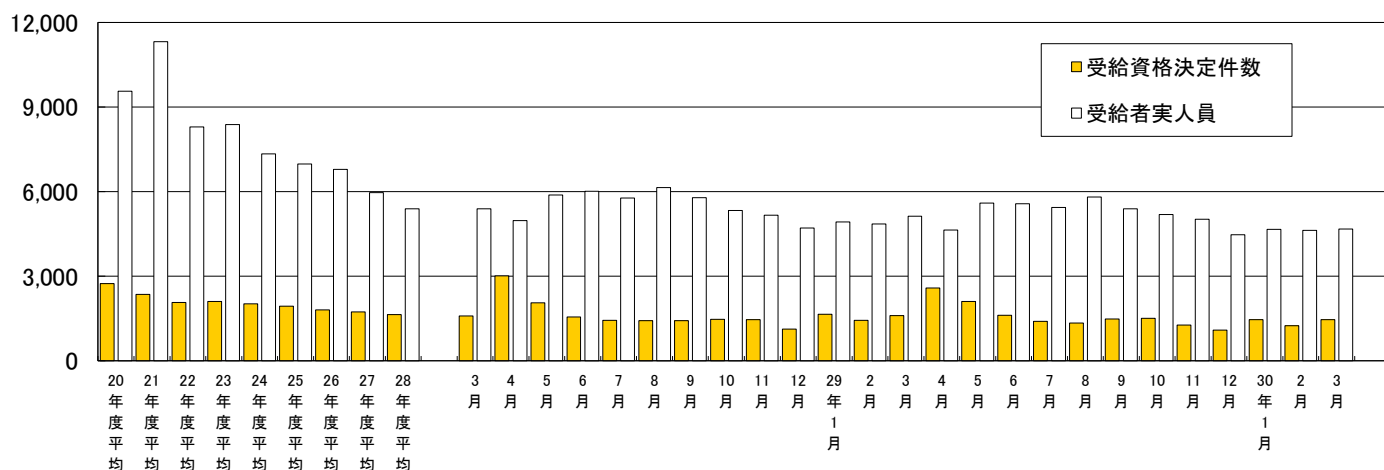
	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	24,243	6,412	5,579	4,302	1,173	881	2,089	1,279	1,159	1,369
有効求人数	31,840	9,776	8,374	5,236	1,493	1,187	1,640	1,489	1,691	954

#### V 雇用保険の状況

3月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比8.8%(454人)減少、前月比では1.2%(54人)増加の4,676人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月9.2%(148件)減少、前月よりも17.1%(213件)増加し1,456件となった。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比21.7%(112人)減少、前月比72.3%(170人)増加し405人となった。

(人) 受給資格決定件数と受給者実人員の推移



(人) 事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

